

新世代 X 線ビューアーソフト『XPoint PowerAction』への移行のご案内

株式会社イマジスタは、X 線 CMOS カメラ「X-Point Super Zero」シリーズの専用ビューワーソフトウェアを刷新し、新たに『X-Point PowerAction』をリリースいたしました。本製品が採用している CMOS カメラメーカーである IDS Imaging Development Systems GmbH の SDK が IDS peak Cockpit へと移行するのに伴い、産業用カメラの国際規格である GenICam への完全準拠を実現して製品のポテンシャルを最大限に引き出します。

【進化のポイント】

- 世界標準規格への完全準拠： GenICam ベースの「IDS peak Cockpit」を採用
- X 線画像に特化した操作性： 工業用 X 線カメラのポテンシャルを最大限に引き出す操作と機能映像と同一のパネルにまとめました
- リアルタイム画像処理の実装：世界的に定評のある画像処理のオープンソース OpenCV を採用

コントロールパネル



← カメラのスタート、ストップ、撮影状態の確認

← 1920 (H)×1200 (V)の解像度は Windows に
収まらないので表示倍率を切り替えます。

← エックス線撮影において感度の調整は必須事項
ゲインと露光時間を調整します。

← エックス線画像改善に関連した画像処理を
集めてパネルに配置しました。

← 細かいコントラスト調整ができます。